

第3回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会 会議録

1. 開催日時 平成24年6月22日（金）午後3時00分～午後5時00分
2. 開催場所 豊橋市役所東41会議室（東館4階）
3. 出席者 委員6名（石原委員長、世羅副委員長、伊藤委員、大久保委員、富田委員、村松委員）
豊橋市4名（金田総務部長、古池行政課長、牧野行政課主幹、仲井行政課長補佐）
4. 欠席者 功刀委員、諏訪委員
5. 会議概要 以下のとおり

発言者	要旨
事務局 (行政課長)	定刻となりましたので、ただ今から、第3回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。 開会にあたりまして総務部長の金田より一言ご挨拶を申し上げます。
総務部長	これまで限られた期間の中で評価を進めていただき、ご苦労をおかけしましたが、いよいよ来月は公開ヒアリングとなります。本日は、まず、公開ヒアリングで取り上げる項目について、続いてヒアリングの進め方などについてご審議をいただきますので、よろしくお願い致します。
事務局 (行政課長)	それでは、ここからは石原委員長に進行をお譲りしたいと思います。
石原委員長	それでは、ただいまから議事に入ります。次第3の(1)にございます、「書類評価の結果について」、事務局より説明を願います。
事務局 (行政課主幹)	お手元の資料1「行財政改革プラン評価シート（外部評価の状況）」をご覧ください。 「1. 外部評価結果について」の部分で、第2回委員会以降に外部評価の変更がありましたので説明いたします。再評価の対象となったものが8取組、評価内容を確認するものが5取組、委員の皆様からいただいたコメントの中に質問があったものが5取組ありました。その後、外部評価が妥当となったものは98取組から105取組に増加し、反対に要検討となったものは39取組から32取組へ減少しました。再評価となった8取組の

発言者	要 旨
	<p>うち、7取組は要検討でしたが、再評価の結果妥当という外部評価に変更されました。評価内容の確認を行った5取組は外部評価が以前と変わらず、またコメントの中に質問があった5取組はコメントが修正、または削除されました。</p> <p>これをもって平成23年度の書類評価は一応の確定とします。</p>
石原委員長	<p>只今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。</p>
石原委員長	<p>特にご意見がないようですので、次第3の(2)にございます、「公開ヒアリングの取組項目について」、事務局より説明を願います。</p>
事務局 (行政課主幹)	<p>それではお手元の資料2「公開ヒアリング取組項目17取組」をご覧ください。</p> <p>この資料は、公開ヒアリング取組項目選定の参考にしていただくために事務局で作成しました。全部で17の категорияに分け、30の取組項目をピックアップしました。項目をピックアップする際に、行財政改革プランの目標のひとつである「地域力」向上という観点から、市民との協働をテーマにする取組から多く選びました。外部評価が要検討となっているものから多く選定しましたが、評価が妥当のものでもコメントの内容によっては公開ヒアリングの対象となりうると思い、選定しました。公開ヒアリングという場を想定し、市民に密接なテーマであるもの、目標設定がわかりやすいもの、なども考慮に入れました。</p>
石原委員長	<p>それでは、資料2についてご意見・ご質問はありますか。</p>
村松委員	<p>資料2の17番でレジ袋の有料化とあるが、有料化を行うことによってどのくらいごみが削減されるのか。</p>
総務部長	<p>これはスーパーのレジ袋の有料化などを検討しているものですが、レジ袋自体は豊橋市内ではまだ無料となっております。豊橋市ではごみを出すときにレジ袋を使用してもよいことになっています。そのためレジ袋自体がごみとなっている状況があります。レジ袋を有料化すれば、レジ袋自体の量が減少し、レジ袋をごみ袋として使用する量も減るので、結果としてごみの削減につながるようになります。</p>
伊藤委員	<p>14番では財政運営の自立性というカテゴリーの中で5取組みが1つになっているが、これだけで1つのグループとするのか。</p>

発言者	要 旨
事務局 (行政課長)	このカテゴリーは、自主財源を増やすという政策に沿って各課が進めている取組をまとめたものです。広告掲載やホームページのバナー広告などの取組がありますが、共通した目的のもとで進められていますので1つのカテゴリーにまとめました。
伊藤委員	公開ヒアリングでは、財政課が説明・取組の紹介をするというイメージでよいのか。
事務局 (行政課長)	取組の主管課として財政課と広報広聴課に出席してもらい、それぞれの課には取組の説明シートを提出してもらおう形を取ります。
大久保委員	書類評価では、5つの取組に独立したコメントをしていることもあり、まとめて議論するのは難しいかもしれない。それぞれの取組で意見をしたい場合は担当課を指定して来てもらえるのか。
総務部長	公開ヒアリングに全ての課が出席することはできませんが、全体的な取組を紹介する中で特定の項目の質問があればそれに答えてもらうようにしたいと考えております。 委員の希望があれば、担当課に来てもらうようお願いしたいと思います。
大久保委員	公開ヒアリングの時、財政課や広報広聴課とやり取りをしていく中で細かい質問が出てきた場合、担当課が不在だとそこから議論が前に進まないの、担当課の出席をお願いしたい。 特に外部評価が要検討の課には来てもらう必要があると考えている。
総務部長	公開ヒアリングでは、まず財政課長に自主財源確保に関する取組全体の話をしていただき、そこから担当課にバトンタッチする方式を取りたいと考えております。
世羅委員	公開ヒアリングにあたっての視点だが、行財政改革プランの進捗管理を行い、改善点を述べるというイメージでよいのか。そうだとすれば、外部評価で要検討となったものを公開ヒアリングの対象とした方がよいのではないか。
総務部長	外部評価で要検討となった取組のみを選ばなかったのは、市民の生活に関連するものや、行財政改革のテーマになっている「地域力の向上」という部分が公開ヒアリングのテーマにふさわしいという考えからです。外部評価で妥当となった取組の中で、委員の皆様からコメントをいただいたものも多く、プランの進

発言者	要 旨
	<p>抄管理に活かせるものを公開ヒアリングの項目案に取り入れました。</p>
<p>世羅委員</p>	<p>外部評価の結果が公開されるということであれば、公開ヒアリングの項目を外部評価で妥当となった取組から選んだ理由を説明できればいいのではないか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>外部評価の公表は、公開ヒアリングの後に予定しております。その際に、公開ヒアリング取組項目を選定した理由を説明すれば理解してもらえると考えております。</p>
<p>石原委員長</p>	<p>それでは、事務局より提案いただきました案を参考に、公開ヒアリングで取り上げる10項目について、委員会として選定をしていきたいと思えます。 まず、資料2についてご意見・ご質問はありますか。</p>
<p>大久保委員</p>	<p>事務局が公開ヒアリングの取組項目案として17項目を選んだ理由は同意できる。行財政改革プランの全158取組で書類評価を担当した委員が「ここは是非やりたい」という取組以外は、事務局案の中から選んでいいのではないか。</p>
<p>委員全員</p>	<p>賛成。</p>
<p>石原委員長</p>	<p>それでは、具体的な選定に入りたいと思えます。 まず、事務局から示された17項目以外の取組についてご意見をお伺いしますが、候補をお持ちの委員はお見えでしょうか</p>
<p>石原委員長</p>	<p>ご意見がないようですので、事務局から示された17項目から選定することになるかと思えますが、そのためのたたき台として、私の方で10項目に絞った案を用意しましたので、ご意見をいただければと思えます。 選定の視点としては、公開ヒアリングの取組としての、市民の関心、議論のわかりやすさ、テーマのバランスなどを考慮しておりますが、いかがでしょうか。</p>

発言者	要 旨
伊藤委員	外国人支援に関わった自分の経験から、3番の多文化共生・国際課の取組は公開ヒアリングの対象とすべきだと思う。人口減のなか、外国人住民との共生は主要なテーマである。地域の抱えるひとつのテーマとして、3番は入れるべきではないか。
村松委員	昨年の東日本大震災、先日の台風4号の影響もあって、防災は市民の関心は高まっていると思われる。テーマとしてまとまっていなくてもいいが、これはヒアリングに出した方がいいのではないか。
事務局 (行政課長)	防災関連の項目は、東日本大震災以降に市民の関心が高まりましたが、行財政改革プランの策定がそれ以前だったために項目数が少なく、議論の広がりについて不安はあります。
伊藤委員	行財政改革プランそのものは3.11以前に策定し、それを5年継続しなければならぬのは分かるが、公開ヒアリングでは、3.11を受けて市としてどのように対応を変化させたのかをアピールする機会になると考える。
世羅委員	9番の指定管理者制度に関する取組というのは、財団に委託して行っているのか。
総務部長	豊橋公園などの大規模公園では、公園管理の業務委託を行っています。指定管理者制度そのものが施設維持の効率化と市民サービスの向上につながるものと考えております。
石原委員長	市民は「民間委託＝コスト削減」と思っているが、実際のところは中長期的な観点でコストが高くなる傾向にある。そういうことを周知するいい機会でもあるのではないのでしょうか。
総務部長	指定管理者制度はコスト削減のみでなく、サービスの向上とセットで考えなければならないので、公開ヒアリングで取り上げ、市民に周知していきたいと考えております。

発言者	要 旨
世羅委員	15番の救急医療充実と病診連携の取組は、東日本大震災以降の市民の関心にマッチしているとは思いますが、2つはどのように関連しているのか。
事務局 (行政課長)	地域の診療所と総合病院が病診連携することで、いわゆる「コンビニ受診」が減少し、その結果として救急医療として重病患者に手厚い診療ができるといった意味で2つの取組を1つのカテゴリーにまとめました。
事務局 (行政課主幹)	本日欠席された功刀委員からは、6番のシティプロモーションに関する取組をテーマとして取り上げてはどうかとの提案を受けております。
石原委員長	それでは、2・3・4・6・7・9・11・14・15・17を公開ヒアリングの10項目として確定します。ご賛成をいただけたようですので、ここに示された10項目を委員会としての決定として、公開ヒアリングに臨みたいと思います。
事務局 (行政課長)	早速、準備にとりかかります。
石原委員長	次に、次第3の(3)にございます、「公開ヒアリングの進め方について」、事務局より説明を願います。
事務局 (行政課主幹)	<p>お手元の資料3「公開ヒアリングについて(案)差替」をご覧ください。</p> <p>7月14日(土)の公開ヒアリングは、午前10時から午後3時50分までの予定で行います。会場は市役所東館8階の東81・86の2会場です。ヒアリングは1コマ50分の予定で進めたいと思っております。最初の15分で所管課がプロジェクターを使って取組の説明をし、次の20分で担当課と委員皆さんとの質疑応答を行います。その後、5分程度時間を取りまして、ヒアリングを傍聴している市民の皆さんの意見を聞き、それを踏まえて委員の皆さんから今後の取組の進め方に対するコメントをいただく時間を10分程度設けます。最後に、市民の皆さんの意見と委員の方々のコメントを総括し、司会の委員さんにヒアリングのまとめを行っていただきます。</p> <p>公開ヒアリング開催にあたっての広報計画としては、広報とよはし、FMとよはし、ティーズ、新聞各紙といったメディアに</p>

発言者	要 旨
	よる周知に加え、ヒアリング取組項目の関連団体等へ開催の案内を送る予定です。
石原委員長	それでは、これで本日の外部検証委員会を終了いたします。 ありがとうございました